

2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 2 月 4 日作成)

小委員会名	感性予測デザイン研究小委員会		主 査 名：林田和人 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	情報システム技術委員会		委員長名：倉田成人
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2017 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>本小委員会では、感性を中心とした研究成果が建築に対してどのように役に立つのかを、広く学会員、一般の方々に分かりやすく伝えることで彼らの建築分野への理解を深め、建築分野の発展のために寄与することを目的とする。</p> <p>初年度：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2015年度大会学術講演会において、「スマート建築モニタリング応用小委員会」と共催OS「建築モニタリングと人間計測・センシング技術」を実施。 ・第38回情報シンポにおいて、「スマート建築モニタリング応用小委員会」と共催OS実施。 ・シンポジウム「空間におけるセンシングと未来の空間像」を開催。 <p>2年度：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報技術によって変わる空間を共通テーマとし、2016年6月、10月に関西と東京でシンポジウム開催。 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	<p>主査：林田和人 (早稲田大学) 幹事：柴田滝也 (東京電機大学)、松下大輔 (岡山理科大学) 委員：猪里孝司 (大成建設(株))、齋藤篤史 ((株)東洋設計事務所)、加藤俊一 (中央大学)、山田悟史 (早稲田大学)、宗本晋作 (立命館大学)、岸本充弘 (InflectionNet)、荻野晃大 (京都産業大学)、多田昌弘 (近畿大学)、江川香奈 (東京電機大学)</p>		
設置 WG (WG 名：目的)			
2015 年度予算	130,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	<p>1. シンポジウム「空間におけるセンシングと未来の空間像」 参加者数 23名 『同名資料』</p> <p>2. 第38回情報・システム・利用・技術シンポジウム ・小委員会企画OS「建築・人間の時間変化データのセンシング」(スマート建築モニタリング応用小委員会と共同) 参加者数 19名 『第38回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集』所収</p>
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 本小委員会主催でシンポジウムを開催し、23名の参加者を集めることができ、また情報技術によって変わる建築というテーマで活発な議論ができた。</p> <p>2. 大会、情報シンポジウムにおいて、「スマート建築モニタリング応用小委員会」と共同でオーガナイズドセッションを開催し活発な議論ができた。</p>
委員会活動の問題点 ・課題	<p>1. 本年度は委員の公募を行わなかったため、公募で委員の増員を目指す。</p> <p>2. 首都圏以外の委員が多く小委員会への参加率が低かったため、小委員会を関西圏で開催する。</p>
その他	